

【生駒】人口 2年連続減 12万944人 「転入促進目指す」 1月1日現在

毎日新聞 2016年1月23日 奈良版

生駒市の人口が2年連続で微減した。住民基本台帳による今年1月1日現在の生駒市の人口は12万944人で、2015年同日の12万1013人より69人、14年の12万1273人より329人少なかった。市が昨年12月に策定した「人口ビジョン」では2020年を人口のピークと推計。人口減少に予測より早く転じた可能性があり、市は「出生率向上や転入促進を目指した施策に積極的に取り組む」としている。

市の統計では、1971年の市制施行時の人口は3万7439人だったが、相次ぐ住宅開発で人口が急増した。06年3月の近鉄けいはんな線・生駒-学研奈良登美ヶ丘間の開業でさらに増えたが、13年に転出者が転入者を上回り、人口はほぼ横ばいになった。

市の人口ビジョンでは、2010年の合計特殊出生率1・26（県全体1・29）を5カ年で0・1ポイント高めるなどの条件で将来人口を推計。20年の約12万1400人をピークに「本格的に減少に転じる」としている。

市は若年層などの転入促進に向け、昨年に市民と共に生駒の魅力を発信するフェイスブック「まんてん いこま」を開設。大阪府内の映画館で放映するCMを製作するなど情報発信も強化している。 【熊谷仁志】